整理番号２８

実　施　年　度　令和５年度（事業期間　令和５年５月～令和６年３月）

事　　業　　名　高温水を用いた道路除草技術の活用検討

提　　案　　者　茨城町

課題及びねらい

視認性を悪くし通行の支障ともなる道路の雑草対策において、高温水を散布することで植物根を枯らし、道路管理者にとって従来の除草工法に代わる有効な手法となり得るか実証実験を行い検証する。

期待される効果

・高温水による効果により、刈払機が不得意とする構造物の近傍も容易に枯らすことが可能

・飛び石による事故を無くすことができる

・騒音・運搬・操作性等の各工法の特性を施工条件に照らし、各現場に有利な工法を選択することが可能となる

実　施　概　要

・町管理道路の縁石部や道路法面を想定した試験フィールドにおいて、高温水散布を３回（5 月、7 月、10 月）実施。試験結果から、費用、施工時間、必要人工、効果の持続時間等について整理する。

実施状況

結果

検　証　結　果

・温水除草の場合、施工から 21 日後まで芽吹きはほとんど見られなかったが、刈払い除草の場合は施工から 7 日前後で芽吹きが確認された。

・本実験においては、温水除草施工では刈払いの芽吹き時期と比べて約 2 週間、芽吹きが遅くなる傾向がみられた。

・高温水除草を施工した場所では、試験前には確認されていなかった多年生植物が支配的となり、草の種類が変化していることが確認された。